

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 8 月 2 日(2023.8.2)

【公開番号】 特開 2023-76745(P2023-76745A)
【公開日】 令和 5 年 6 月 1 日(2023.6.1)
【年通号数】 公開公報(特許)2023-101
【出願番号】 特願 2023-63180(P2023-63180)
【国際特許分類】

A 6 3 H 33/22(2006.01)

10

A 6 3 H 3/00(2006.01)

A 6 3 H 9/00(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 33/22 Z

A 6 3 H 3/00 U

A 6 3 H 9/00 Q

A 6 3 H 33/22 A

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 7 月 24 日(2023.7.24)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源からの光を特定の方角に導くことができる導光部材と、

前記導光部材により誘導された光を外部から目視可能に放出する発光部材と、を含み、
前記発光部材は、前記導光部材から光を受ける入光部が、前記導光部材の出光部を囲むよ
うに前記出光部に支持されており、
前記出光部は、前記光源の配置側とは反対側の端面に形成された窪み面を有し、前記窪み
面の頂部が前記光源の配置側に位置している、

30

模型玩具の導光構造。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の模型玩具の導光構造において、

前記窪み面は、略円錐形に窪む逆円錐面である、

模型玩具の導光構造。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の模型玩具の導光構造において、

前記出光部は、前記光源の光を前記入光部に向かって放射する円弧外面を有し、

前記入光部は、前記円弧外面に常時対面した状態の円弧内面を有している、

模型玩具の導光構造。

40

【請求項 4】

請求項 3 に記載の模型玩具の導光構造において、

前記円弧外面には、前記出光部からの導光経路を画成するように切り欠かれた切欠きが
形成され、

前記切欠きには、玩具本体側に設けられた係止突起に係合する、

模型玩具の導光構造。

【請求項 5】

50

請求項 4 に記載の模型玩具の導光構造において、

前記切欠きは、前記導光部材の軸心側から半径外方向に広がる 2 つの切欠き面にて略 V 字形状に形成されている、
模型玩具の導光構造。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 の何れか一項に記載の模型玩具の導光構造において、

前記導光部材は、前記光源の光を前記出光部に導く導光胴部を備え、

前記出光部は、前記導光胴部に比べて大径に形成されている、

模型玩具の導光構造。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の模型玩具の導光構造において、

前記導光部材は、前記導光胴部の外周面に、前記導光胴部の軸心線に沿うように複数の凸条が形成されている、
模型玩具の導光構造。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 の何れか一項に記載の模型玩具の導光構造において、

前記発光部材は、前記出光部を囲む環状の入光部と、

前記入光部から該入光部半径外方に延びる平板状の複数の延出羽根部と、を含む、

模型玩具の導光構造。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の模型玩具の導光構造において、

前記延出羽根部は、その厚み方向の中段部位に光反射部が設けられている、

模型玩具の導光構造。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の模型玩具の導光構造において、

前記延出羽根部は、その厚み方向において分割可能な少なくとも二枚の重ね合せ部材を含み、

前記光反射部は、前記二枚の重ね合せ部材の少なくとも一方の内側面に形成された凹凸により形成されている、

模型玩具の導光構造。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 の何れか一項に記載の模型玩具の導光構造において、

前記発光部材は、前記入光部がその厚み方向に重なるように複数個設けられている、

模型玩具の導光構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る模型玩具の導光構造は、

光源からの光を特定の方向に導くことができる導光部材と、

前記導光部材により誘導された光を外部から目視可能に放出する発光部材と、を含み、

前記発光部材は、前記導光部材に回動可能に支持されている、ことを特徴としている。

また、本発明に係る模型玩具の導光構造においては、前記発光部材は、前記導光部材から光を受ける入光部が、前記導光部材の出光部を囲むようにして前記出光部に回動可能に支持されていてもよい。また、本発明に係る模型玩具の導光構造は、光源からの光を特定の方向に導くことができる導光部材と、前記導光部材により誘導された光を外部から目視可能に放出する発光部材と、を含み、前記発光部材は、前記導光部材から光を受ける入光部が、前記導光部材の出光部を囲むように前記出光部に支持されており、前記出光部は、

10

20

30

40

50

前記光源の配置側とは反対側の端面に形成された窪み面を有し、前記窪み面の頂部が前記光源の配置側に位置していることを特徴とする。また、本発明に係る模型玩具の導光構造は、前記出光部は、前記光源の光を前記入光部に向かって放射する円弧外面を有し、前記入光部は、前記円弧外面に常時対面した状態の円弧内面を有していてもよい。

10

20

30

40

50